



- 意見 4 : 中学校で行われる高校説明会や出前授業などで、その中学校の卒業生を連れていく本校の取組みは成長した姿を中学の関係者に見せられることになるため、ぜひ継続してほしい。(複数)
- 意見 5 : 中学校の教員に向けて、研修を通して専門学校学びについて伝え、中学生の進路相談に結びつけられるとよい。
- 意見 6 : 企業との連携協定により、専門職の方から直接指導していただくことは高校生の自信にもつながりよいことである。
- 意見 7 : 本校の学びに向かう力を持たせようとする方針はとても共感できる。主体的に動くことで成長につながる。
- 意見 8 : 今回、専門的な実習内容を見ることができてよかった。中学生が高校見学会や1日入学で高校に訪れた際には、専門的な内容を体験することで進路の選択につながることも多いので、体験できる取組みを継続してほしい。
- 意見 9 : 地域との連携についても可能な範囲で行われることが望ましい。
- 意見 10 : ここ数年、授業を見る機会が保護者になかったが、今回、授業の様子を見ることができてよかった。わかりやすく楽しい授業を受けている様子、安全配慮の上でわかりやすく説明がされている実習などを直接見ることで、家庭での会話につながったり、地域の方に工業高校を勧められることにつながる。部活動を含め参観できる機会が設定されるとよい。開放された学校作りを望む。(複数)
- 意見 11 : 学ぼうとしている生徒の姿が多く見られよかった。
- 意見 12 : 学校自体が新しい取組みを始めており、学校を変えていく動きがわかり感動した。
- 意見 13 : 友達関係を作るのが苦手な生徒については、どのように表現してよいのかわからない事が多くある。このような生徒に対し「これをやってはダメだ」と伝えることよりも、「こうするとよい」という言葉のかけ方が必要である。
- 意見 14 : 発達障害は十人十色である。ひとりひとりを分析し、生徒の持つこだわりの点などを理解する必要がある。一般的に多動性や衝動性は年齢とともに落ち着いてくるものであるが、こじれてしまっているケースもある。支援を受けることは悪いことではないので、どんな点で支援をすべきかを見極め対応する必要がある。

(5) 第2回、第3回の学校運営協議会の日取りなどについて

6 会議のまとめ

- ・全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。
- ・全委員より学校の取組みについて肯定的な意見が得られた。今後も継続する。
- ・開かれた学校づくり、授業参観についての機会を設ける。
- ・就職対応中心の学校での進学対応可能な体制作りについては、岐阜県教育委員会へ報告する。県内の工業高校全体の課題ととらえ、県に対応を求めていく。